

2023年1月

*** 年頭所感 ***

2023年の内外経済の見通し

日興リサーチセンター株式会社

理事長 山口 廣秀

はじめに

明けましておめでとうございます。令和5年の年明けを迎えました。

昨年は、内外ともに激動の一年でした。サッカー・ワールドカップでは日本チームの活躍に感動しました。しかし、内外の政治・社会・安全保障情勢を見渡すと、国内では安倍元首相の銃撃事件、新型コロナウイルス感染症の第8波襲来など、人々の不安感を否応なく高める出来事が続きました。海外では、米中対立の構図が続く下で、ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射、台湾海峡を巡る懸念など、安全保障情勢は想定を超えて大きく不安定化しました。

内外の経済情勢は、一段と厳しさを増しました。ウクライナ情勢もあって、インフレはグローバルに上昇し、景気も悪化しています。主要国での資産バブルは、金利が上昇する中で、いよいよ収縮に向かっています。まさに内外経済は危機的な状況に接近しつつあります。

2023年はどんな年になるのでしょうか。政治・安全保障・経済面等余りにも多くの要因が複雑に絡み合っていて、先行きを正確に読むことは困難です。ただし、昨年の激動化した流れが一段と強まり、非常に厳しい情勢に向かっていく可能性は小さくないとみています。とくに内外経済については、スタグフレーションの様相を強めつつ、バブルのさらなる収縮も生じて、全体としてかなりの不況に陥る恐れがあると思います。

しかし、こうした困難の時こそ、大きなチャンスがあるものです。イノベーションの契機も、目を凝らしてみれば随所にあるのではないのでしょうか。皆様がそのようなチャンスを捉え、イノベティブな1年を過ごされることを心より祈念しています。

内外経済のこの1年

海外経済はこの1年、グローバリズムの逆転、サプライチェーンの寸断、安全保障情勢の悪化といった世界規模の環境変化が、主に経済の供給力の低下を招く中で、後退しています。インフレについては、環境変化が供給サイドにネガティブな影響を与えていることもあって、上昇圧力がかかっています。資産バブルは、グローバルに金利が上昇する中で、はっきりと調整過程に入っています。

国別にみても、米国は、インフレ加速、資産価格下落が響き、景気は大きく後退しています。ユーロ圏でも、景気の後退と物価の上昇が共存するスタグフレーションの様相を呈しています。中国経済は、不動産バブルの収縮とゼロコロナ政策解除の遅れが相俟って、成長スピードは大きく減速しています。

一方、日本経済は、全体としてみれば、一進一退の状況です。設備投資が緩やかに持ち直し、個人消費も、ウィズ・コロナが進む下でまずまずの伸びを示していますが、一方で輸出がここに来て減速し、住宅投資も低調です。物価は、資源価格高騰や円安の影響もあり、食料加工品、耐久消費財、外食など、広範な品目に亘って上昇圧力が高まっており、国内インフレが広がりつつあります。

内外経済の見通し

今年の海外経済は、物価の上昇、資産価格の下落、金融引き締め効果などから悪化し、かなりの不況に陥る可能性も出てきます。物価動向もあわせて考えると、スタグフレーションの様相が強まっていくとみられます。

国別にみても、米国経済は、物価の上昇継続などから、不況期入りするものと思います。ユーロ圏についても、米国同様のメカニズムから、リセッションとなる恐れがあります。中国は、不動産バブルのさらなる収縮、ゼロコロナ政策の緩和に伴う混乱等から、景気はさらに減速していくのではないのでしょうか。とくに米欧中の主要国については、予想以上に下振れるリスクがあることを忘れてはなりません。

日本経済については、物価の一段上昇、輸出の減少、個人消費の腰折れ等から後退する見込みです。場合によっては、不況となる可能性もあります。消費者物価は、企業収益の好調持続に伴う賃上げ、ボーナスの増加、インフレ予想の上昇を背景に、上昇が加速する公算があります。日本経済も、主要国の景気下振れの波及から、さらなる不況に陥るリスクが小さくありません。

今年は5月に、先進7か国首脳会議（G7サミット）が広島で開催される予定です。サミットを通じて、世界経済の苦境を脱する処方箋が示され、実際に年後半には世界経済が先行きへの明るい芽を見出すことができると願っています。

おわりに

今年の内外経済については、以上の通り、厳しい見通しをもっています。2023年の干支は卯です。卯年の相場格言は「跳ねる」であり、躍動感を期待できる年回りです。今年の内外経済が去年の混迷を脱し、大きく「飛び跳ねる」年となることを皆様とご一緒に願いたいと思います。私たちも、インベティブな調査活動を心がけながら、経済の先行きをみる眼をさらに鍛えていきたいと考えています。

以 上